

# 『啄木のふるさと』『もりおかの短歌』

## 平成20年 秋の部 優秀賞発表

### 優秀賞十首

『啄木のふるさと』『もりおかの短歌』は、啄木が生れ育った盛岡を訪れる観光客や市民による啄木短歌の特徴である『三行書き』の短歌づくりを通じて『短歌のまち もりおか』を推進することを目的に本年度から実施している事業です。

年間を四つの期間（夏の部・秋の部・冬の部・春の部）に分け募集。

9月から11月まで募集した秋の部にも、夏の部同様、観光客や市民の方々から多くの短歌が投稿され、この度優秀賞10首が選定されました。

投稿箱は、当所や盛岡市役所、啄木関連の観光施設、市内ホテルなどに設置しており、現在は冬の部を募集しておりますので、啄木になった気分で行書きの短歌に一度挑戦してみたいいかがですか。

朝市やお国訛りのまんなかで  
神子田ホルモン独り味わう

宮城県仙台市 阿部 賢市

啄木も賢治も生みし  
みちのくの広き大地に  
馬ぞいななく

大阪府豊中市 大塚 穎三

古への城柵の跡は閉かなり  
秋雨の中  
独り歩かむ

千葉県流山市 小金丸 敏

不来方の  
城址歩めば啄木の  
吐息のやうな団栗ひろふ

秋田県横手市 今田 保雄

盛岡の上の橋町お餅屋の  
米蒸す匂い  
橋こえて来る

岩手県大船渡市 齋藤 陽子

子供らが公園でする落葉焚き  
煙の中に  
啄木がいる

岩手県盛岡市 中島 久光

せみの声  
ぼくらのいえにふりそそぐ  
八月のあめさんさのように

岩手県盛岡市 原 広大

夕闇をとかして覗く万華鏡  
紅葉燃ゆる  
不来方の城

大阪府大阪市 福田 夏美

公園の石碑に平和の  
誓ひ見ゆ  
新渡戸稻造を生みし盛岡

北海道札幌市 古川 栄子

啄木の愛せし岩手山の秋  
写真を妻に  
メールで送る

東京都東大和市 杜野 泉

平成二十年秋の部  
投稿数 百七十首

選者 八重嶋 勲氏